



あお やま のり たけ
青山 昇 武



こうめいとう きいんだん
公明党議員団

保護猫対策について里親探しの推進を

問 TNR活動とは、所有者のいない猫を保護し、不妊・去勢手術を施した後に元の所に戻すことで、繁殖を防ぐ効果がある。

飼い主のいない猫に関わる苦情として糞尿被害等があるが、解決するには市がしっかりとした取り組みをしなければならぬ。保護猫の里親探しについて、ホームページなどへの積極的な掲載や、基金制度等の創設も考えていくべきではないか。

県と連携して市としてできることに取り組む

答 動物愛護管理法に基づき、不適正な飼い主等に対して勧告や命令をしたり、猫等を保護して管理をしたりする権限は県にある。そのため、津市では、適正な飼い方を啓発し、糞尿被害の原因となる猫や殺処分される猫を発生させないための県のTNR活動などに協力してきた。

現在、「三重県動物愛護推進センターあすまいる」が行っている譲渡事業や里親事業についても、事業の紹介や「あすまいる」への取り次ぎなど、津市としても、より関わりが持てるよう県と調整をしていく。

今後も、市としてできることをしっかりと考え、県と連携して取り組んでいく。

●その他の質疑・質問●

○令和4年度津市一般会計予算・プレミアム付デジタル商品券発行事業について

- スポーツ振興基金活用事業について
- 都市拠点再生推進事業について
- 中心市街地活性化について
- お城を生かしたまちづくりを
- 資源物持ち去り防止パトロール事業の損害賠償請求状況は



▲津城跡を生かしたまちづくりを



さか い だ しげる
坂井田 茂



つきやうく みらい
津教育未来

先進的な「30人学級」への制度改革の加速を

問 「新型コロナウイルス感染症対策」かつ「児童生徒の学力向上対策」かつ「教員が子どもたちと向き合う時間の確保および教職員の働き方改革」の教育課題解決のためには、先進的な「30人学級」への制度改革の加速こそが最も重要で効果的な解決策であると考えますが、教育委員会および津市の見解を問う。

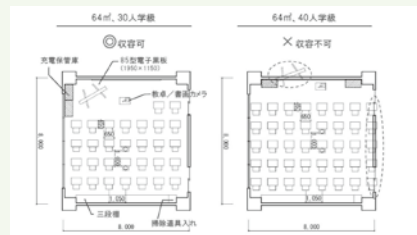
まずは、早期の35人学級の実現を目指す

答 令和3年度は、国が小学2年生の学級編制基準を35人に引き下げ、県では3年生まで県独自の少人数学級が拡充され、35人学級編制となった。さらに、令和4年度は、国が小学3年生の学級編制基準を35人に引き下げ、県でも4年生まで県独自の少人数加配による35人学級編制に向けて準備が進められている。

今後、30人学級も見据えつつ、学級編制基準の見直しやみえ少人数加配の対象学年の拡充の効果を検証しながら、早期に小中学校全学年で、35人学級が実現されるよう、国や県に要望していくとともに、人員の確保のため大学と連携した人材育成に努める。

●その他の質疑・質問●

- 水泳指導業務委託について
- ロシアによるウクライナ侵攻に対する津市としての意思表示及び人道的な見地に立った支援の考えは
- 学校の働き方改革を加速して推進するための取り組むべき7項目に関して
- 津市スポーツ施設の整備・構想に関して、公認陸上競技場・スケートリンクについて など



▲望ましい30人学級の教室内配置図（文科省関係資料より）